

や み～家 はじまります



関NPO法人みんなで暮らそう家 TEL78-5494 住所：富永690-2



み～家

美山地域初の地域子育て支援拠点「み～家」が10月2日にオープンしました。み～家という名前には、「みやま」「みんなで暮らそう家」、そして「みいちゃん」の愛称で親しまれる(左ページ前平代表の名前)が込められています。地域の人でも子育て中の人でも、遠方の人でも、「ちょっとよってこ♪」と、誰もがふらっと立ち寄れる場所、ほっとできる場所を目指して、心を込めてつくりました。

み～家が、たくさんの笑顔や出会いが生まれる場所となりますように。

物販&イートイン

- ▶営業日 火曜日～土曜日
- ▶時間 9時～19時
- ▶内容 日替わりのお惣菜やお弁当、野菜、スイーツ、おやつ、ドリンクなどを販売。店内飲食もテイクアウトもできます。



山県市地域子育て支援拠点 み～家 親子の時間ころろ

- ▶営業日 火曜日・木曜日・土曜日
- ▶時間 9時～15時
- ▶内容 保育士が駐在し、親子でのんびりと過ごせる居場所です。子育ての相談や情報提供をします。
- ▶申し込み 不要



レンタルスペース

- ▶使用用途 イベントやサークル活動、集会など
- ▶レンタル場所 土間など
- ▶利用料金 曜日や時間によって異なるため、み～家HPを確認してください。



▲み～家HP

広報10月号7ページに掲載した「新たな子育ての拠点 み～家10月2日オープン」の電話番号に誤りがありました。訂正し、お詫びします。正しくは上記のとおりです。



美山が大好き

ここでみんなと生きていきたい

特定非営利活動法人 みみなで暮らしそう家 代表 前平 美由紀 さん

令和4年10月から、古民家で「にこぺこぐう」という子ども食堂を始めて、今年で5年目になります。1回につき、20人くらいかなと思って用意しましたが、まさかの100人越え。コロナ禍なこともあって、集まって暮らすことは何を食べるかじゃなくて、誰と生きるのか・暮らすのが大事だなんて思ったんですよね。そんなこともあり、2週間に1回の子どもの食堂ですが、こどもだけでなく誰が来てもいいよって。こどもはご飯を食べて遊びたい。大人はご飯を食べて、話して元気になって。子ども食堂でみんなが集まる。最終的には200人を超えてました(笑)。ただ、今の「にこぺこぐう」の古民家では身体の不自由な人や車いすの人が入れないんです。そんなとき、旧マルキのスーパリーのオーナーさんが、ここをよかったら使わないかと声をかけてくれました。初めてここに入った瞬間、ビビッとまさに今のみく家の空間が浮

かんで。「ここは絶対に楽しく暮らせる場所になる」って思ったんですよね。ここはバリアフリーでしかも広い。いろいろな人や市にも相談して、知恵や力も借りて、NPO法人みみなで暮らしそう家をつくりました。みく家は、赤ちゃんからお空に帰るその日まで誰でも歓迎します。9時のオープンを待つおじいちゃん、おばあちゃん。学校終わりのこども。仕事の帰りの大人。毎日いろんな人が来ますよ。美山に暮らし28年。結婚を機に、静岡県出身の私は、田舎で暮らしたくて、ご縁があつて、美山にひよいって来たんです。こどもが3人いますが、地域の人が手を貸して、気にかけてくれて、いっぱいあるからって野菜どうぞってくれて、いろいろなことを教えてもらって…。私たち家族の暮らしの周りに生きづく人たちの心意気に感動して、美山大好きって気持ちでいっぱい。地域の人たちが私をそういう気持ちにさせてくれたんです。たくさんの方がここにきてくれて、顔を合わせて話をして、みんなの体温を感じて、ほっとする場所をつくるのが私の夢でした。今、たくさんの方がみく家に来てくれることでその夢が少しずつ叶っています。

み～家の中をのぞいてみよう



ただいまとおかえりが飛び交うあたたかい玄関でどんな人も迎えます。

こどもたちも笑顔でおもてなしのお手伝い。



開放的なガラス張りの空間で誰もが気軽に立ち寄れる場所に。



机や椅子も特注し、年齢を問わず、身体への負担を抑えて快適に過ごせるよう工夫されています。



10月2日のはじまりの会では、こどもたちが草木染めしたハンカチを来賓の皆さんと結び、オープンを祝いました。このガーランドはみ～家の中に飾られています。